

生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎ 四四一四八二六)



サクラ色にこころときめいて

高齢者生きがい創造学園事務局
生涯学習指導員 青木 英子

春に向けて少しづつ芽を覚まし始めたサクラの小さな花芽が、ぷっくりと膨らみ、もうすぐ、私達を魅了する春色を増す頃となりました。学園前の一直線な登り坂から、見上げる春色に染まる風景には、思わず「サクラ、あっぱれ！」と絶賛したくなります。私が、サクラに心動かされたのは、テレビ番組でサクラをテーマに、高性能の撮影機材や最新の撮影方法を駆使して、人の眼や耳では通常とらえられない世界を映し出してくれた映像を観た時からです。すっかり、サクラに心を奪われてしまいました。

サクラの魅力のポイントは四つ。先ず一つ目は、たくさんのお花を咲かせること。一つの芽から、三から五個咲かせるそうです。

二つ目は、一斉に咲くこと。サクラの花は冬眠するそうです。つぼみに含まれている休眠物質が、冬の寒さで消費されて減ってくると目覚めます。さらに、春の暖かさを感じて一斉に開花のゴーサインです。

三つ目は、サクラの花の色の变化。桜色のお花は、咲いて散るまでの間に白く変わっていきます。一方、めしべは、初めは白っぽかったのが、徐々にピンク色に変わっていきます。なんでも、自然界では、ピンク色より白の方が目立ち昆虫を惹きつけるとのこと。

四つ目は、一斉に散ること。サクラの花びらは、まだ花びらが広がっているうちに潔く散っていきます。花びらは、丸く反っているそうで、くるくるひらひら、風に舞って「サクラ吹雪」を演出してくれます。「人間に大切に扱ってもらうために」だそうです。

サクラの美しさの秘密、いかがでしょうか？

学園で三年目の春を迎えます。今年も日々「春色」を増す様子を、笑顔で観られますように。

19	18	13	8	日
火	月	水	金	曜
				午前
			会計監査	午後
		三役・各委員長会		
		第五回役員会		
		第五回代表者会		

◆今月のロビー展◆

(三月十九日～四月二十一日)

百描会(美術)

*五月の予定

つつじ(俳句)
あすなる(俳句)
梅(俳句)
山茶花(俳句)

◆ご恵贈お礼◆

◎ロビー生け花(三月度)

鴻上 美智甫 様(講師)

◎川柳にいはま 三月号

にはま川柳会 様

謹んで地震災害の

お見舞いを申し上げます

この度の東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

高齢者生きがい創造学園

平成二十二年度 学園祭

◎ラージボール卓球大会 九〇名参加

(三月一日 市民体育館)

Aグループ

得点

優勝 国田・曾我部・田中

一四点

準優勝 矢野・森・横山

一三点

三位 鈴木・曾我部・塩見

一一点

Bグループ

一四点

優勝 近藤・久松・古佐小

一四点

準優勝 佐伯・田坂・高橋

一一点

三位 近久・笠崎・高橋

一一点

Cグループ

一〇点

優勝 泉・酒井・佐伯

一〇点

準優勝 松浦・田坂・宇野

一〇点

三位 石川・直野・能智

一〇点

Dグループ

一二点

優勝 越智・白川・智内

一二点

準優勝 鴻上・岡田・川田

一〇点

三位 伊野・真田・工藤

九点

◎グラウンドゴルフ大会 九七名参加

(三月三日 学園グラウンド)

優勝

真鍋 友一(別子GG)五一打/三R

準優勝

直野 時子(別子GG) 五一打

三位

矢野 浩子(広瀬GG) 五三打

四位

高橋 寛昌(別子GG) 五三打

五位

津乘 弘志(別子GG) 五四打

六位

河野 利雄(GG講座) 五五打

七位

長谷部 雅幸(広瀬GG) 五六打

八位

桧垣 豊(広瀬GG) 五六打

九位

伊藤 富子(別子GG) 五六打

十位

岸 寛(別子GG) 五七打

ホールインワン 三九人 四七本



一打入魂



平成22年度 学園祭



グラウンドゴルフ大会



熱戦続くラージボール卓球大会 (新居浜市民体育館にて)

国技の大相撲が見たい

(卓球サークル 桃山B)

私は大相撲のファンであるが、今の相撲協会を見ていると非常に腹が立つ。

春場所が中止になるなど八百長メール問題で、大揺れの相撲協会だが、相撲協会存亡の危機ささやかれているが、当然である。

公益法人の隠れみのもと八百長を隠せようとするものではない。又、国技だとして相撲協会はいばっているが、現状はどうだ。何年も日本人力士の横綱はおらず、横綱のみならず幕内上位役力士を外国人が占めている。

最近テレビで観戦していても腹が立つてしようがない。

体力のある大きな外国力士を倒す技を磨いてこそ「国技」と言えるのではなからうか。大相撲新生委員会は五月に本場所を開催したいと提案しているがもつての外である。調査、処分をきっちりして、完全にウミをだし切らないと、国技としての大相撲のあしたなどないと思う。

日本国民は大いに期待しているのだ。私も早く「国技としての大相撲」をテレビ観戦出来ることを願っている。

(泉川 笠原 照久)

楽しいお茶のひととき

(茶道サークル みどり)

月に二回お茶を習っています。船木から自動車を通っている友達が生協の前で午前九時に待っていてくれます。当番の時は早速大きなやかんで湯を湧かしたりお茶碗、水指、お茶筌等を所定の位置に配置し今日は先生は何のおけいこをして下さるのかな等と友達に聞いたり段々物覚えが悪くなったのを自覚しながらそれでも準備をしています。

お呈茶の時の四季折々のお菓子、春は櫻の花びらかな、またある時はあじさいをイメージしとるのかなと色形も楽しみながら若草色のお茶を点でてて戴き満足しています。

家で飲むのとは違い、それぞれお作法がありますので面白いです。お棗はお薄で、お茶入れはお濃茶の時に用いるものですが拭き清め方が違います。

本当にお茶は奥が深い。若い方達ともお友達になれるし、また少しは落ち着いた静かな時間も持てますし楽しく、しかしまだ緊張感も持ちながらお抹茶とつき合っています。

(角野 原 ユリ子)

ご惠贈



ロビー生け花

私にとつての歩こう会

(サークル 歩こう会)

何かを始めようと思った頃に、声をかけて頂いてもう五年になります。

行動範囲のせまかった私にとつて、行く先々での出合いは楽しく新鮮でした。

旧別子・銅山峰方面は楽しみなコースで別子銅山関連の地が、遺産として数多く残され、その都度説明を受け感動です。同じコースでも訪ねる時期によつて、出合いの景色が様々なので、四季折々の様子が伺えます。また、歩きながらのおしゃべりも楽しみで、情報交換だったり、体験談だったり、いろんな話に広がっていきます。特に食べ物の話になると興味津々です。

一月の例会は、こんぴらさんでした。資料の中に「門前うまいもんマップ」があり珍しいおせんべい店を教えて頂きました。

石松の絵柄の包装紙になつかしさを感じ、船々堂の「片目の親分」ですよ！の声を背に石段を駆け上がって買ってきました。

次年度はJRを利用しての計画もあるとかで楽しみです。皆様と一緒に歩ける事に感謝しながら、今後も楽しく「歩こう会」に参加出来ることを願っております。

(船木 藤田 澄恵)

何事にもチャレンジ

(コーラスサークル ひろせ)

若い時の苦勞は、買つてでもした方が良く
と先人達は申しましたが、そのとおりです。
私達夫婦も山あり谷あり、苦勞の連続の日々
がありました。夫婦力を合わせてがむしやら
に働き、今の老後を迎へ幸福を感じておりま
す。

退職後は学園のサークル3カ所に入つて毎
日があつとゆう間に過ぎてゆきます。中でも
コーラスひろせに、お世話になり、三年がた
とうとしております。

そのコーラスひろせで、代表を務める事と
なり、その器ではないと思いましたが、背伸
びせず自分らしく何事もチャレンジ精神で、
今日までやつてまいりました。

学園祭でのサークルひろせは、歌だけでは
なく毎回趣向をこらした見せ場があります。
奥坂聡子先生のアイデアのもと、衣装、小物、
プラカード等の制作もやらなくてはなりません。
代表の私は特技もなくパソコンも出来ず、
副代表に助けていただいております。学園祭
での朗読、司会、お礼の挨拶、絵、文字、す
べて、役員の皆様、会員の皆様の御協力をい
ただき、本当にありがとうございます。

代表として、会員の皆様には、色々迷惑を
おかけして申し訳なく思います。

奥坂先生、コーラスひろせの皆様ありがと
うございました。

(中萩 柴田 秀子)

身体にもメンテナンスを

(生花サークル きつらぎ)

一病息災と言いますが、病気を抱えていると
病院へ行くのが億劫ではありません。私の場合、
糖尿病を抱えており二ヶ月に一度は必ず診察に
行きますので、その時に何かあれば医者にご相談
することが出来ます。

去年の事ですが、ウォーキングの時などに少
し胸が苦しいことがあるので相談しました。心
電図には異常はなく気のせいだろうと言われま
したが、納得が行かないので別の医者に見ても
らいましたが同じでした。そこで県立病院でC
Tをとってもらい、心筋梗塞が判明しました。

心筋の周りにある冠状動脈が三箇所閉塞気味
であるので、これを俗に言う風船治療すること
になり都合二回、一回当り二泊三日の手術でス
テントと言う管を入れました。簡単な手術で二
時間ほどで終わりました。これ以後は十五歳く
らい若返ったみたいで、息切れもなく安心して
生活できるようになりました。

皆様も身体に何か異変を感じたら直ぐ医者に
掛かりましょう。
そして元気で末長くシルバー生活を楽しまま
しょう。

(大生院 片岡 信廣)

一打入魂

(ゴルフサークル 別子G・G)

別子GGに入会させて頂き五年の節目とな
りましたので、私の体験を綴ります。

一年目は、優しくして怖くもあつた先輩達に
叱咤激励の指導を受け、無我夢中で練習に励み、
マナーとルールを教わり、基本を身に付けるこ
とに努めました。

二・三年目は、常に成績上位の人達は、人
の見ていない所で、人の何倍もの練習をし、技
術と精神面を磨いているとの話を聞き、練習を
させてくれる所があれば、何処へでも行き、指
導を受け、腕を磨き、少しは上達し、競技大会
に参加するのが楽しみになり、数回入賞するこ
とが出来ました。

四年目は、自信過剰で練習不足のため、技
術・精神面の習得と追求がおろそかになり、成
績が上がらず、長いスランプに陥り自業自得の
状態で終わってしまいました。

本年は、初心に返えり、一打入魂をモット
ーに、一打目は肩の力を抜きボールを打ち、二
打目以降は落着いて優しくボールにさわる程度
の感覚で、ホールインさせる事に専念したく思
つて居ります。

又、無秩序・無規則な世の中になってきて
いる昨今、グラウンドゴルフだけは、ルールと
マナーを大切に守りましょうね!

最後になりましたが学園の事務局の皆様と
別子GGの仲間感謝致します。

(船木 岸 寛)

やきもの 亀池会

(陶芸サークル 亀池A)

早いもので陶芸教室から五年代表者を勤めています。亀池会の紹介をします。

亀池会は陶芸教室を修了した者が会員資格で、今年三月第一八回総会で一〇三名、

A 五三名が月・水に月四回、B 五〇名が火・木の月四回、一一二名陶芸教室に於いて、土ひねり・色付けを行い、窯場で電気窯により素焼きと本焼き(酸化・還元焼成)を年間二・三回行っています。

陶芸に欠かせない土は、特赤(鉄分多い)信楽・備前等十一種類を購入斡旋し、釉薬(石灰透明釉・黒天目・白萩釉・飴釉・柿釉)等二十一種類を、常備し本焼き前に釉薬を攪拌・濃度を調整して施釉に供します。

形を作る方法は、ロクロ・たたら・手びねり・鑄込み等あり、これを八四〇度で素焼きし、色つけ・釉薬を掛け一二四〇度で焼成します。扉を開け作品と出会える瞬間は緊張感と楽しみで最高です。

技術研修で、年二回、日本工芸会正会員篠原雅士講師の指導を仰ぎ作品はチャリテイに出品、研修旅行を年一回実施します。

陶芸は、頭を使い手を動かし数多く作る事が良い作品出来ます。安い費用で和気藹々、陶芸が楽しめる学園陶芸サークル亀池会が長く続くことを祈ります。

(中萩 伊東 雅男)

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

冬陽さす白き湯気たつ部屋の 中野菜スウプ
はやさしただよふ 三並 桂子

うなぎパイ製造ラインに乗りゆける見学を
終へ連なりて買う 坂田 純子

水かけてやつと芽出でし大根菜の空にかざ
せばふた葉の愛し 馬木由利子

こわれそうなおさなを抱けば思い出すその
父抱きて夜業せし日々 瀬崎 貞三

うたかたの五十四年を手ぐり寄せ青春きら
めく古希の宴会 加藤 千春

学園柳壇

サークル「ねこやなぎ」

愛注ぐ君が居たから今日がある
盛り付けで味の薄さをカバーする 石田 恵子

人生のファイルそろそろ総仕上げ
お互いにこだわり捨てて今がある 伊藤 敏数

思い出のファイル開いて若返る 浮川 良美

どの地でも明日を疑わない新芽 岡田 文子

講師 井原みつ子

学園俳壇

サークル「そよかぜ」

寒行僧素足草鞋で寺を出る
柗の小花こぼるる散歩道 太田 稔
白息や学徒の群の走る野辺 工藤 孝子
吉田 清美

サークル「あすなろ」

初春や琴の音流る奥座敷
閉山の里を出でずに楮蒸す 石川 伊津子
島小春放哉の墓に酒少し 青野 幸永
加藤 和子

サークル「山茶花」

知り人の囁す横笛獅子の舞
国宝の仏像に会ふ春一日 長尾 健治
前髪にうつつすら雪の合格子 上村 扶佐子
近藤 静

サークル「梅」

冬晴やコーヒー旨きカフェテラス
山笑ふ神住む社に法螺響く 佐々木 俊行
白も又燃ゆる色なり夕牡丹 佐藤 寿見子
高橋 妙子

サークル「つつじ」

早春の空に向って棟上がる
海に向く十基の風車風光る 永海 平三
小春日やアナウンサーの講習会 福永 靖
浜田 美智子

海風を受けて麦踏む段畑
笹鳴きや寺には寺の格がある
春寒や忘れ傘ある診療所

講師 阪上 史琅